

名証二部、東証JASDAQ

証券コード：2185

CMC GROUP

株式会社シイエム・シイ

2020年9月期 第2四半期連結決算説明

業績説明

業績予想比

売上高において、期初予想を上回るマニュアル案件が増加。
 営業利益において、新商材の収益化遅延により減少。
 遊休不動産の売却による特別利益を計上。

単位:百万円

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	業績予想比	前年同期比
売上高	9,839	8,868	+8.2%	▲9.9%
売上総利益	3,584	2,902		▲19.0%
販売管理費	2,319	2,107		▲9.2%
営業利益	1,265	795	▲3.0%	▲37.1%
(営業利益率)	(12.9%)	(9.0%)		(▲3.9 ^{※1})
経常利益	1,292	817	▲0.1%	▲36.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	669	537	+7.0%	▲19.7%
EPS	96.09円	76.38円		▲19.71円

貸借対照表

単位:百万円

資産の部	2019年9月末	2020年3月末	差額
流動資産	13,131	13,182	+50
（内、現金及び預金）	8,832	8,712	▲120
固定資産	5,665	6,095	+429
資産合計	18,797	19,277	+479

負債及び純資産の部	2019年9月末	2020年3月末	差額
流動負債	3,137	2,786	▲351
固定負債	1,442	1,684	+241
負債合計	4,580	4,470	▲109
株主資本	13,820	14,403	+583
その他	397	403	+5
純資産合計	14,217	14,806	+589
負債純資産合計	18,797	19,277	+479

新型コロナウイルスへの対策

国内



感染予防の徹底と感染時の「**職場対応フロー**」を策定

テレワークの実施（全社員の7割程度）

フレックス活用による**時差出勤**や**分散出勤の実施**

Microsoft Teamsによる**WEB会議の活用**

生活支援、在宅勤務支援策として**グループ全社員**に**特別支援金**を支給

海外



各国政府の要請に基づき、**テレワークの実施**

新型コロナウイルスによる業績への影響

各種イベントの**延期**による**業績への影響は軽微**（**受注は確保**）

ただし、今後 **感染拡大が収束し期ズレ**となるのか、あるいは**感染拡大が長期化**した場合に、

受注そのものが消滅するのか、**お客さま企業の動向は不明**

一方で、**WEBを活用した教育や販売促進等、新たなビジネスが発現**

そのため、**通期の業績予想**について、現時点においては**合理的な算定が困難**

通期の業績予想について、

現時点においては合理的な算定が困難なため、通期業績予想は未定。

見通しが確定した時点で開示いたします。

単位:百万円

	前回予想	今回予想
売上高	20,000	-
営業利益	2,500	-
経常利益	2,487	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,583	-
1株当たり当期純利益	227.38円	-

ただし、**期末配当予想（50円）** に関しましては


変更ございません。


成長戦略への取り組み (資本政策)

成長戦略に向けた取り組み -資本政策-

2030年9月期
営業利益 **100** 億円
ROE **15** % 以上

市場の拡大と深耕
M&A活用・推進


 注力市場の拡大
製造、医療・医薬品、
物流、ロボティクスなど

 モビリティ市場の拡大と深耕

 海外市場の拡大と深耕

 戦略的M&Aの推進による
市場拡大・商材強化

営業利益率 **25** % 以上

 ICT活用による
生産性の飛躍的向上

株主還元強化

 継続的増配

3期連続の増配に加え、記念配当

名古屋証券取引所市場第二部への上場記念として、
2020年9月期の期末配当を **1株あたり2円**の記念配当

単位:円



注力市場の拡大
医療・医薬品、
物流、ロボティクスなど



モビリティ市場の
拡大と深耕



海外市場の
拡大と深耕



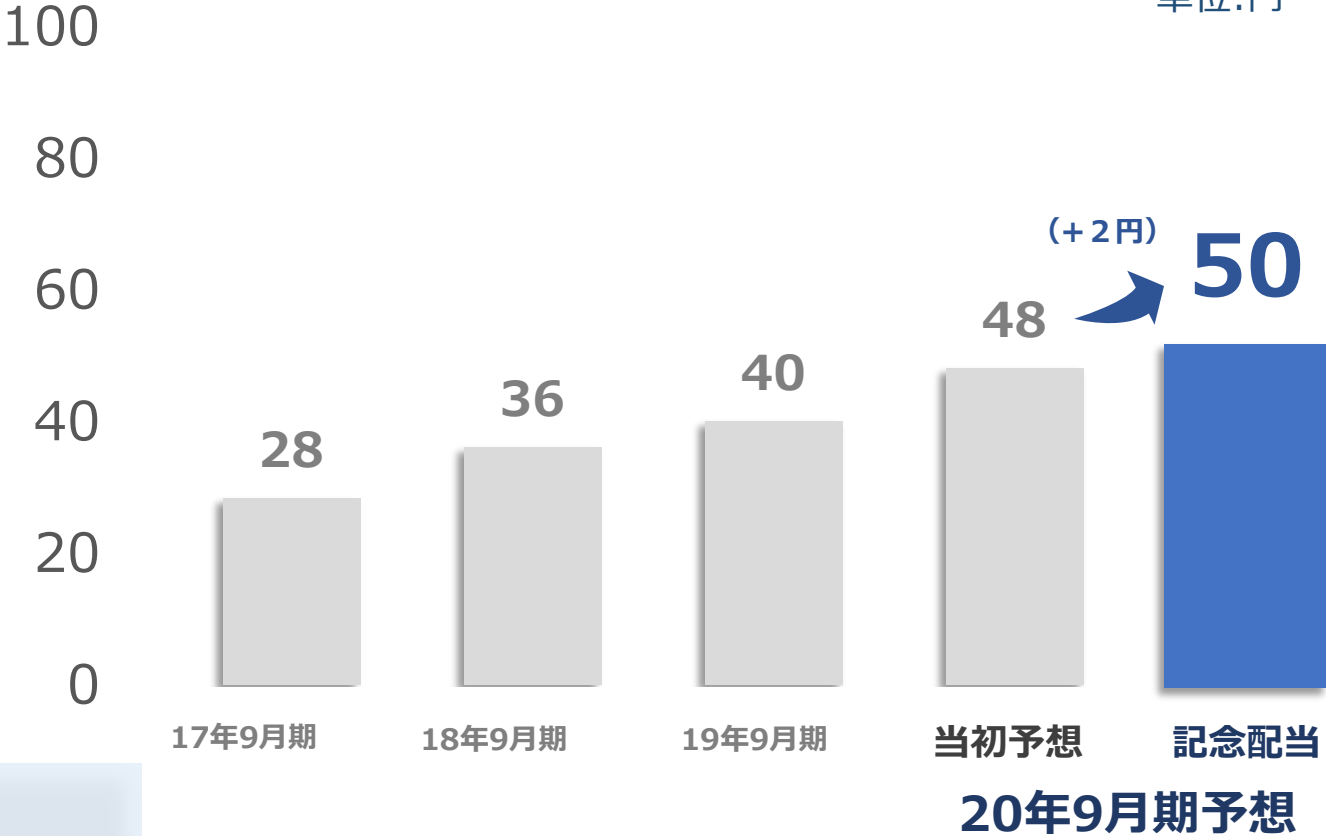
戦略的M&Aの
推進による
市場拡大・
商材強化



ICT活用による
生産性の
飛躍的向上



継続的増配



株主還元の充実 と 資本効率の向上 を図るとともに、

経営環境の変化に対応した 機動的な資本政策を遂行するため



注力市場の拡大
医療・医薬品、
物流、ロボティクスなど



モビリティ市場の
拡大と深耕



海外市場の
拡大と深耕



戦略的M&Aの
推進による
市場拡大・
商材強化



ICT活用による
生産性の
飛躍的向上



継続的増配



自己株取得

取得し得る株式の総数	200,000 株 (上限) * 発行済株式総数 (自己株式を除く) に対する割合 2.82%
株式の取得価額の総額	300,000,000 円 (上限)
取得期間	2020 年 4 月 1 日 ~ 2020 年 6 月 30 日


取得した株式の総数	54,000 株
株式の取得価額の総額	90,491,400 円
取得期間	2020 年 4 月 1 日 ~ 2020 年 4 月 30 日 (約定ベース)

成長戦略への取り組み (事業戦略)

成長戦略に向けた取り組み -事業戦略-

2030年9月期
営業利益 **100** 億円
ROE **15** % 以上

市場の拡大と深耕
M&A活用・推進

 **注力市場の拡大**
製造、医療・医薬品、
物流、ロボティクスなど

 **モビリティ市場の拡大と深耕**

 **海外市場の拡大と深耕**

 **戦略的M&Aの推進による
市場拡大・商材強化**

営業利益率 **25** % 以上

 **ICT活用による
生産性の飛躍的向上**

株主還元強化

 **継続的増配**

AIをはじめとしたICT技術を保有する 木村情報技術株式会社と業務資本提携



木村情報技術株式会社

KIMURA INFORMATION TECHNOLOGY Co.,Ltd.

業務標準化ビジネスの強化、 医療・医薬品市場へのさらなる展開を狙う。

新型コロナウイルスの影響にともない、 オンライン商材の連携・拡大を推進中。



AIサービス



WEB講演会



注力市場の拡大
医療・医薬品、
物流、ロボティクスなど



モビリティ市場の
拡大と深耕



海外市場の
拡大と深耕



戦略的M&Aの推進による
市場拡大・商材強化



ICT活用による
生産性の飛躍的向上



継続的増配

ビジネスモデル

Who we are



時代の変化に対応し、
変わり続ける

0 個

創業時から続く
商材の数



一流企業に鍛え上げられた
品質と信頼性

58 年

大手自動車会社との
取引年数



仲間づくりと
グループ総力の結集

約 5 倍

グループ3社
M&A前後の
営業利益増加



圧倒的なナレッジと経験を持つ
マニュアル業界最大手

約 50 %

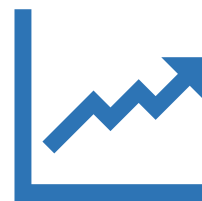
大手自動車会社における
技術マニュアルの
当社シェア



最尖端ICT技術の
開発・活用

25 %

グループ全従業員
ICT人財比率向上中



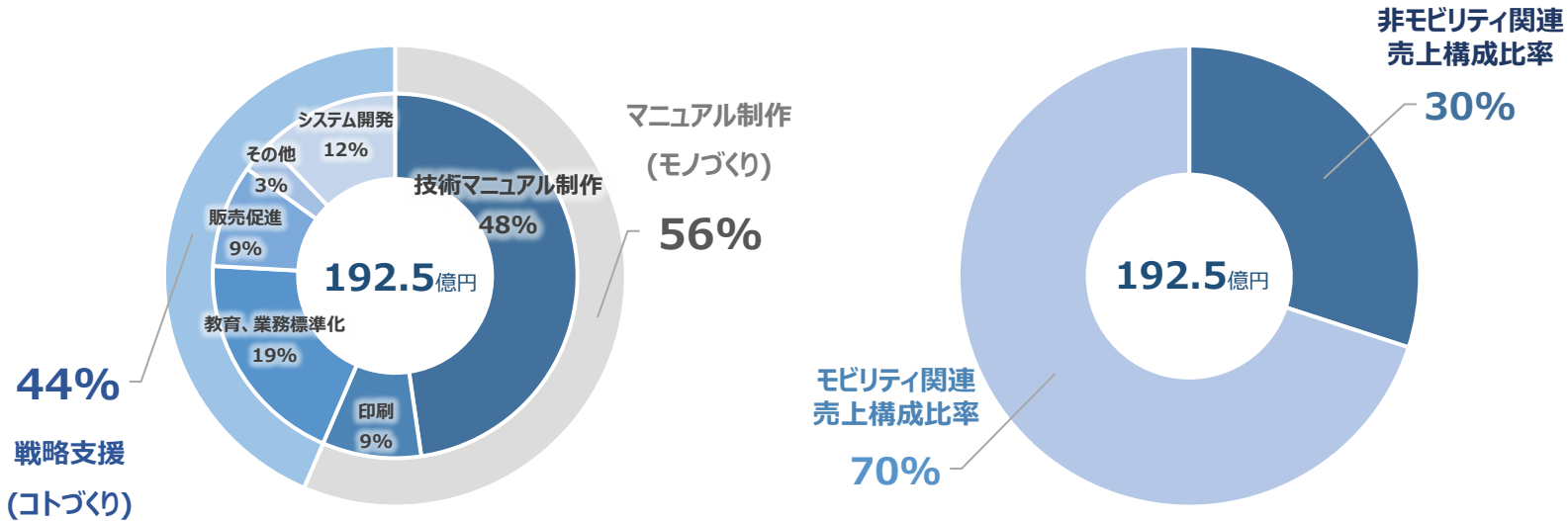
利益・配当の
継続成長

33 %

営業利益
直近3年 平均成長率
(増配も継続)

経営概況 (2019年9月期末時点)

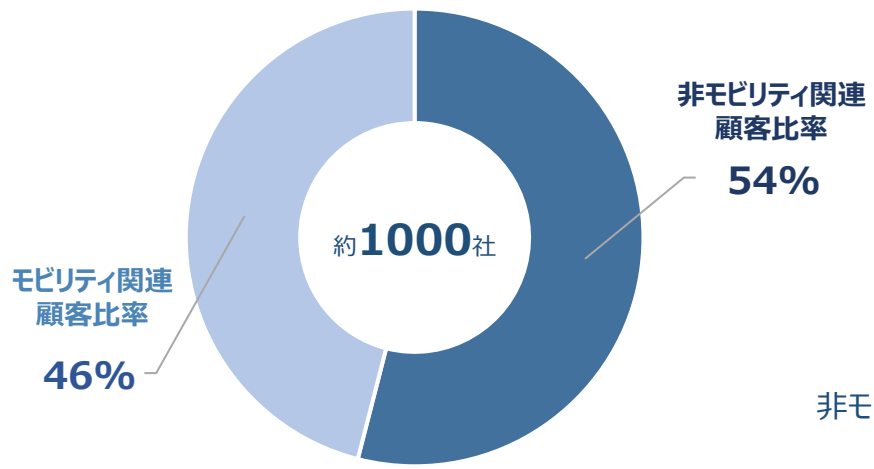
売上構成



マニュアル制作 (モノづくり) を基盤としつつ、
戦略支援 (コトづくり) が全体の **44%**まで成長

モビリティ関連を深耕しつつ、
非モビリティ関連が**30%**まで拡大

顧客構成

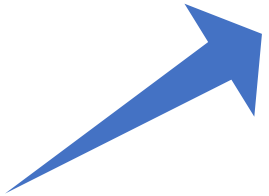


顧客構成においても
 非モビリティ関連社数が**54%**と市場拡大中

マニュアル制作（モノづくり） &

お客さま企業の 戦略支援（コトづくり）へ

お客さま企業の
技術情報を扱う
信頼の歴史



モノづくり
（制作）

技術マニュアル

コトづくり
（体験・体感）

販売戦略：
消費者への
認知向上

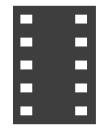
人財教育：
従業員への教育

業務標準：
カンコツ・技能の棚卸し

マニュアル制作

マイクロ
フィルム

印刷



顧客

サービス業

製造業

モビリティ

1962

1970

2000

2010

2020

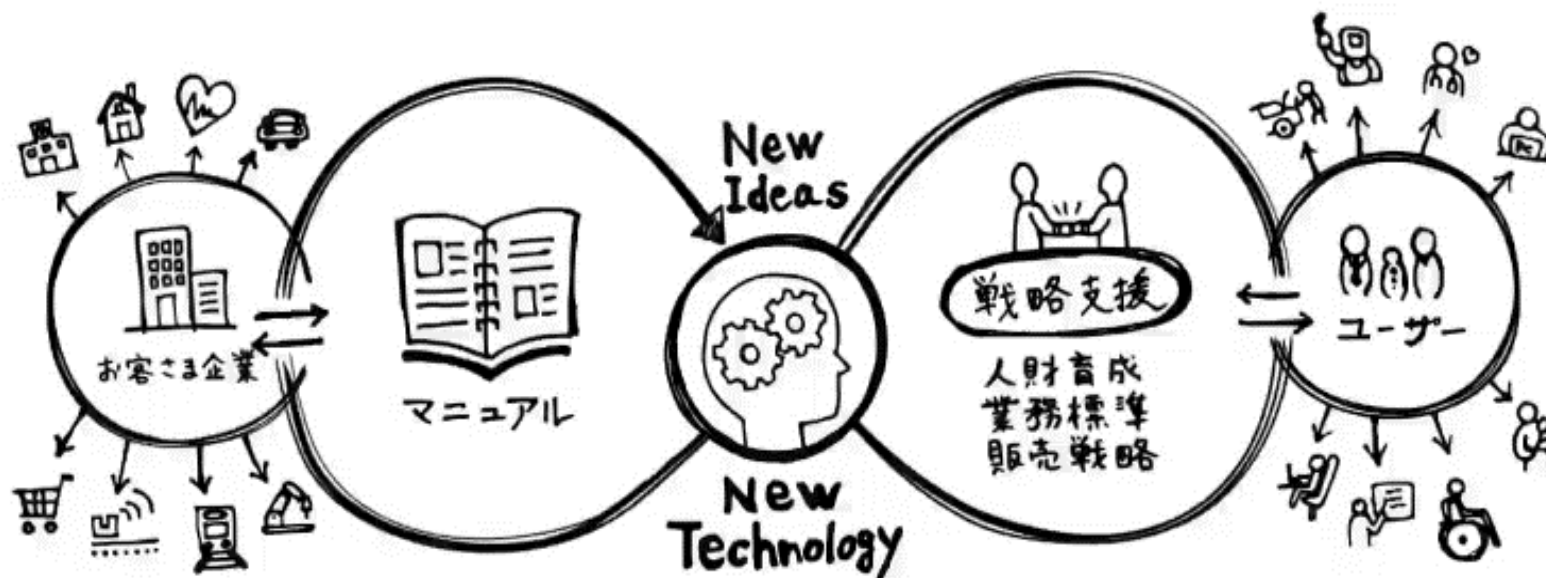
ビジネスモデル戦略

「マニュアル制作」を通じて

お客様企業を深く理解し、

「戦略支援」を通じて

ユーザーを深く理解する。



このサイクルを回し続けることで、

持続的な需要 と 高い参入障壁 が生まれ、

独自のビジネスエコシステムを構築。

參考資料

参考資料 経営指標

連結損益計算書	単位	17年9月期通期	18年9月期通期	19年9月期通期	20年9月期 予想(※2)
売上高	百万円	16,889	18,114	19,251	-
売上総利益	百万円	5,421	6,204	7,106	-
営業利益	百万円	1,372	2,001	2,246	-
経常利益	百万円	1,534	2,076	2,248	-
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	938	1,322	1,314	-
					-
売上総利益率	%	32.1	34.2	36.9	-
営業利益率	%	8.1	11.0	11.7	-
経常利益率	%	9.1	11.5	11.7	-
当期純利益率(※)	%	5.6	7.3	6.8	-

※ 当期純利益率 = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 売上高

その他の指標(※1)	単位	17年9月期通期	18年9月期通期	19年9月期通期	20年9月期 予想(※2)
BPS(1株当たり純資産額)	円	1,717.3	1,868.3	2,026.9	-
EPS(1株当たり当期純利益)	円	132.4	188.7	188.7	-
ROE	%	8.0	10.5	9.7	-
ROA	%	9.7	12.2	12.4	-
PER	倍	10.2	13.3	10.7	-
配当性向	%	21.4	19.1	21.2	-
従業員数	名	931	969	1,001	-

※1 当社は、2018年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2017年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

※2 2020年5月13日開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年11月11日の2019年9月期決算発表時に開示した2020年9月期通期(2019年10月1日～2020年9月30日)の業績予想を「未定」とさせていただきます。

今後、業績予想の算定が可能となった段階で改めて公表いたします。

(業績予想の修正に関するお知らせ https://www.cmc.co.jp/cms/wp-content/uploads/2020/05/oshirase_20200513.pdf)

▶社名	株式会社 シイエム・シイ
▶事業	マーケティング活動支援／ICT戦略支援
▶設立	1962年5月
▶住所	名古屋市中区平和1-1-19
▶代表者	代表取締役社長 佐々 幸恭
▶資本金	6億5,761万円
▶従業員数	968名 (連結)
▶グループ会社・拠点	18社 (国内8社、海外10社) 31拠点 (国内16拠点、海外15拠点)

※2020年3月31日現在

North America

アメリカ



CMC PRODUCTIONS USA INC.

Europe

ポーランド



Maruboshi Central & Eastern Europe Sp. zo.o.

オランダ



Maruboshi Europe B.V.

フランス



Maruboshi France S.A.R.L.

Asia

中国



広州国超森茂森信息科技有限公司
広州市丸星資訊科技有限公司
北京国超森茂森網絡科技有限公司

台湾



台灣丸星資訊科技股份有限公司

タイ



CMC ASIA PACIFIC CO., LTD.
Maruboshi (Thailand) Co., Ltd.

シンガポール



CMC ASIA PACIFIC CO., LTD.

海外

8ヶ国 15拠点

参考資料 将来の見通しについて

この資料は、株式会社シイエム・シイ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資をおこなう際は、投資家の皆さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

お問い合わせ先
株式会社シイエム・シイ 経営企画部 IR担当 052-322-3386

IRサイト <https://www.cmc.co.jp/ir/>

CMC GROUP

**2020年9月期第3四半期累計期間の決算発表は、
8月7日（金）を予定しております。**